

輪投げ

アンカーリングで逆転可能。競技性が増したワナゲ。台上の数字は、縦、横、斜めのいずれの和も15となる配列を施しています。

難易度★ 人数:1人～



◎ 用具

- ◆ レーン・・・幅 1.2mの平らなレーン。ボードから 2mの位置にラインを引きます。
- ◆ ボード・・・60cm×60cmの白地の木製台。
- ◆ リング（輪）・・・赤 4 本・黄 4 本・青 1 本の輪（ゴム製）

◎ 場所

屋外・室内を問わず、平坦な場所に台を設置して 2 本のラインを引き、公式ルールでは 2m より投輪（とうりん）を行う。申し合わせにより、競技者の身体条件、技術レベルに応じて投輪距離を別に設定しても構わない。

◎ 人数

1人～何人でも

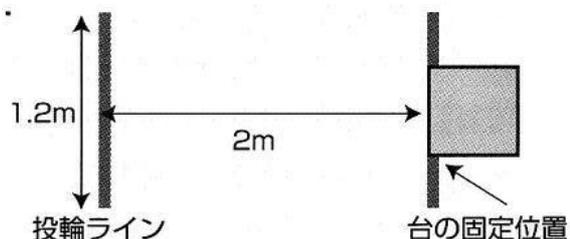
◎ リングの投輪

<サイドフリップ投法（横投げ）>

リングを地面に対して平行に保ち、足を前後に、肩幅よりもやや広くとり、サイドスローで投げる方法。この投法はコントロールが難しいが、バウンド（跳ね返り）しにくいので近距離に適している。

<センターフリップ投法（正面投げ）>

足を肩幅と同じ程度に開き、利き腕がワナゲ台の中央部に向く形で、投輪ラインに沿って立つ（利き腕側の足を一步引く姿勢をとるのもよい）。次に、リングが地面に対して平行になるように突き出す。そして、リングを持つ腕の力を抜いて後部に振り、その反動で投げるアンダースロー投法である。慣れると的中率が高いが、バウンドしやすい。



ゲームの進め方

1. 9本のリングを続けて全部投げる。
2. リングを投げる場合はどのように持ってもかまわないが必ず片手で輪を持ち投輪ラインの手前から投げる。その時両足は地面に接していなければならずまたラインを踏んだり越えたりしてはならない。投げ方に違反があった場合はそのリングは無効として取り除く。

3. 無効リングによって、すでにポールに入っているリングがはずれた場合は外れたリングをもと通りポールに戻す。ただしワナゲ台に乗っていたリングが移動した場合はそのままにし、一度床に落ちたりリングがその後台上に乗った場合はその都度リングを取り除く。
4. ワナゲ台に乗っているがポールには入っていないリングがその後のプレーでポールに入った場合、有効得点となる。
5. 得点は、9本全部のリングを投げ終わった後、次のプレーヤーが計算する。

【得点】

- ワナゲ台のポール下にある数字が得点となる。
- 縦横斜のいずれか一行にリングが入った場合は「一期の原則」により $15 \times 2 = 30$ の点数になる。全部のポールに1本ずつリングが入った場合は「上がり」（パーフェクト）で300点となる。